

Reference 5

英抄なし

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭57-152768

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和57年(1982)9月25日

H 01 M 2/28

2117-5H

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑯ 鉛蓄電池用極板群

⑰ 実 願 昭56-39694

⑱ 出 願 昭56(1981)3月20日

⑲ 考 案 者 長谷川寿朗

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

⑲ 考 案 者 唐沢昭司

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

⑲ 考 案 者 安田博

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

⑲ 考 案 者 桜井哲夫

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

⑲ 代 理 人 弁理士 中尾敏男

外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 複数の極板の耳部とセル間接続体、もしくは極柱とを一体に接続した極板群のストラップにおいて、前記セル間接続体もしくは極柱に近づくにつれて断面積を大きくした鉛部とその鉛部をとり囲む樹脂部とよりなることを特徴とした鉛蓄電池用極板群。

(2) 前記ストラップはその断面積が任意の位置よりセル間接続体もしくは極柱に違い方向に存在する極板の枚数に比例する鉛部と、その鉛部を

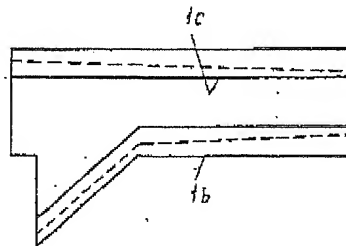
とり囲む樹脂部よりなることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項に記載の鉛蓄電池用極板群。

図面の簡単な説明

第1図は本考案のストラップを用いた陽極板群の斜視図、第2図はストラップの鉛部をとり囲む樹脂部の下面図である。

1……ストラップ、1a……ストラップの樹脂部、1c……開口部、2……セル間接続体、3……極板、4……耳部。

第2図



第1図

Figure 1 is a perspective view of a mechanical assembly. It shows a horizontal beam (1a) supported by a vertical frame (3). The beam has a width w_1 and a thickness t_1 . The frame has a width w_2 and a thickness t_2 . A component (2) is attached to the top of the beam. A dashed line (1b) indicates a hidden part of the beam. A component (4) is attached to the bottom of the beam. A component (1) is attached to the side of the beam.